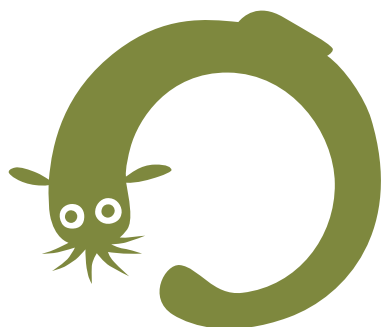


そうかわせみ、



そ  
う  
か  
わ  
せ  
み、

Vol.11



相沢正一郎

(窓辺に立つひとは、川の光を……) 2



岡島弘子

むこうがわ 4



一色真理

犯罪 6



伊藤浩子

月夜野 7

(窓辺に立つひとは、川の光を……)

窓辺に立つひとは、川の光をのぞき込んでるひと……たちまち太くぼやけていくヒコキ雲、葉をおとし骨のように立っている木、庭の片隅にとぐろを巻いているホース、ソファーや鉢植、テーブルといつしよに窓ガラスに混ざりあつたそのひとの姿……ひとも川のようにはじまりとおわりがあるんだらうか。もしここにわたしがいなかったとしたら、いま別の場所で、わたしは一体なにをやっているんだらう。川をさかのぼっていくとき、ひとはなぜ孤独になつていくんだらう。すこしまえに冷蔵庫の扉をあけて中身を点検していた顔——青くつめたい光にぬれたあの顔は、ほんとうにわたし自身だつたんだらうか。今朝もまた、窓辺で熱いコーヒーを持って立っていたあのとき、ふわふわこころをよぎる思いはどこに行つてしまつたんだらう。

窓辺に立つひとは、日記を付けてるひと……はなしの途中、ふいにはさみこまれた沈黙。かいだんの途中にこしかけて少しだけ泣いた

りしたこと。虹をみて一、二分なにもかも忘れていられたこと。ソファーの下からくつしたをかたつぽ見つけて埃をはらつたこと。じやがいもの皮をむいたり、ジャムをつくるため、籠いっばいのイチゴのへたを取つたりしたこと。ジッパーをさげ、空いっばいの星をみあげながら小便をしたこと。まよなか椎の実が、屋根を叩いた固い音、しめつた土のうえ静かに重くあしおとみたいに響いた音。裏庭の門の鎖の錆がてのひらを赤く染めたこと。(すぐちかく、川をはねる魚の水音)。冷蔵庫にあかい象の磁石でとめられたメモ(へパンプキンパイがあります。電子レンジでチンして食べちゃってください)。

むこうがわ

耳に体温計をさしいれる  
体温と心温が平熱であることを門番にみとめてもらう  
そして結界をくぐる

手洗い 消毒

こちらがわのものすべて消し去る  
はみでたものはマスクでおおう

エレベーターの押しボタンは暗号になっていて 一文字一文字  
謎を解くとドアがひらいてとじて  
すこしばかり天上にのぼれる

中有のあたりで そのひとのベッドにおいつく  
こちらがわの言葉ではなしかけても 半分も伝わらない  
そのひとの耳の中には むこうがわの楽の音が流れているのかもしれない

寝たきりの枕元には 身近な人々の写真  
こちらがわの情報で満ちているのだが

そのひとの目線の先をたどると 天上ちかく  
とうに死んだ母親の写真が飾ってある  
母親はそのひとにほほえみかけつづけている  
視線はむこうがわのその一点にそそがれている

そのひとをのせたベッドは浮力をもっているので  
しがみついても私のあしもとがおぼつかない

やがて時果てて ふたたびエレベーターの前  
暗号と魔法のことばで こちらがわにもどる  
たちまち私のからだは引力でがんじがらめ  
むこうがわの記憶だけが ときおり羽根をひろげる

## 犯罪

共犯者のように女友達が赤いしみになった日。母は「はい、いしきでございます」と電話口に出たという。大きな目玉のあるビルがいつも地平線の上から庭を覗きこんでいた。女友達はその目を「超自我」と名づけ、ぼくに「さあ、カーテンを引いて」と促すのだった。庭には一匹の生きた犬と二匹の死んだ猫が遊んでいた。ぼくは「生きたものだけを食べたい」と言い、女友達は「死んだものしか料理できない」と泣き止まない。ぼくに分かるのは、見えるものはいつか見えないものになるということだけだ。

ぼくはこの事件の主犯者なので、もう誰とも口をききたくない。赤いしみのついた両手を高く差し上げ、ビルの前でひとり踊っていた。家では母が電話口で「はい、しんりでございますね」と答えているだろう。

## 月夜野

なみの引きわすれた  
こごえたあしたに  
追いかけてきたものと  
暖をとる

石をととのえ  
伽をおえたなら

おまえには  
片目を

お食べ

さあ

お食べ

同人住所

---

相沢正一郎 / 〒189-0024 東京都東村山市富士見町3-17-24

一色真理 / 〒201-0002 東京都狛江市東野川3-17-2-302

伊藤浩子 / 〒403-0016 山梨県富士吉田市松山3-4-222-201 宮下方

岡島弘子 / 〒201-0002 東京都狛江市東野川3-17-2-302

---

そうかわせみ、Vol.11 2014年3月20日発行

頒価500円

編集：相沢正一郎

発行：そうかわせみ、の会 〒201-0002 東京都狛江市東野川3-17-2-302 一色方

印刷：遠藤印刷 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-6-9

表紙：相沢育男

---